

施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
業者さま施工の場合は施工終了後、本説明書をお施主様にお渡しください。

fun o'clock

SPCフローリング「ファン・オクロック」

施工および使用上の注意点とメンテナンス

クギ・接着剤不要！賃貸住宅でも施工OK！

クリック式でスムーズ施工！



耐水性

キッチン・洗面・トイレなどの
水廻りでもご利用いただけます。



耐久性

耐久性に優れた耐摩耗フィルム層が、
傷や摩耗から表面を保護します。



床暖房対応

熱に強く、変形しにくい素材なので
床暖仕様としてもご利用可能です。



静音性

商品最下層の発泡ゴムシートが、
歩行音などの生活音を防ぎます。



賃貸OK

賃貸物件でも使用できるので、
お引越し先でも繰り返しご利用可能です。



ペットOK

土足環境下やペットの爪キズに
対しても十分な耐久性を発揮します。

1 はじめに

免責事項：施工後の返品や交換には応じかねます。

- 商品受け取り後は速やかに開梱し、傷や破損などの損傷がないことをご確認ください。（サネ部分に破損症状がある場合は正常にロックできない可能性があります。施工をお控えいただくか、損傷箇所のカット除去をお勧めします）
- 商品は水平な場所で保管願います。商品の移動あるいは一時的な立てかけの際には、商品角部分の破損や既存の床や壁などに傷がつかないように十分にご注意ください。
- 商品角部分はやや鋭利な角度となっておりますので、取扱いの際の怪我にご注意ください。
- 商品は室内用フローリングです。屋外での使用はお控え願います。

2 施工前の確認

必ず下記の事項をお守りください。

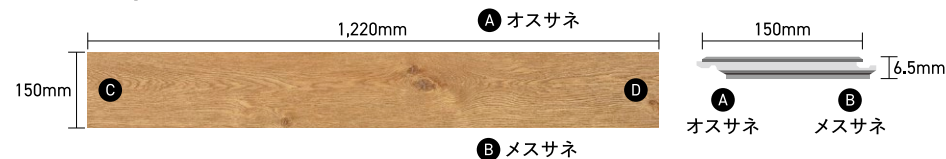
- 下地の確認
（コンクリート系下地）RC造などへの施工は12mm以上の合板捨て張りをしてください。
（木質系下地）下地が12mm以上の合板であることをご確認ください。
（既存床への上張り）既存床が平滑であり、弾力性がないことをご確認ください。
また、既存床面から上張り分の厚みが加算された状態で、開き戸などの開閉に干渉する箇所がないことをご確認ください。（床材を上張りした状態で扉下部と床材表面の間に5-10mm程度の隙間が確保できることを推奨します）
- 商品が施行可能な場所は、屋内で、且つ設置面が平滑であり、下地が乾燥した状態であることが条件となります。（商品の凹凸や不陸の激しい箇所、カーペットや畳など柔らかい素材の上には施工できません）
- 施行される場所の室温を10～28℃に設定し、作業してください。
- 本商品の施工は置き敷き工法を推奨しております。
- 商品の装飾プリント（木目など）は、数パターンの構成となっているため、商品内には同一の装飾プリントもございます。施工前に仮並べをして、同一の装飾プリントが隣接しないよう柄のバランスをご確認いただくことをお勧めします。
- 施工する床面に段差、凹凸やゴミ等がないことをご確認ください。
- 商品は卓上ノコギリなどの建築工具でもカットできますが、刃物が痛む恐れがございます。大量にカットする場合は、キッチンパネル用チップソー（刃物）のご利用をお勧めします。

3 施工前の注意事項

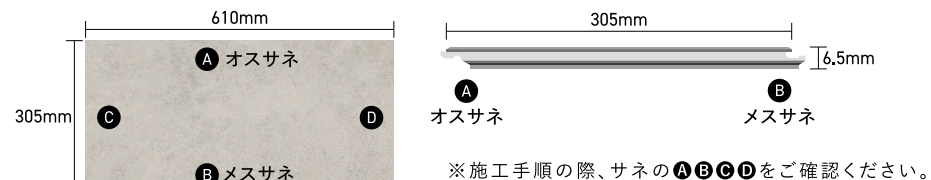
- サンルームなど常に商品に日光があたり温室環境に該当する居室には施工いただけません。
- 床暖仕様は温水マット方式（小根太付き）に限り使用可能です。温水マットの上には9mm以上の捨て張り合板を施工願います。給湯温度は床材表面温度が27℃以下になるように設定願います。
※電気フィルム式にはご利用いただけません。
- 商品長手方向の施工が10mを超える距離の施工時は、中途に見切り材を施工し、商品の連結をいったん切り離してください。
- 先行床施工などで、床材上に壁を設置されることはお控え願います。
※広い面積を占有する重量物（ランドピアノなど）を設置することもお控え願います。
- 商品施工が狭い面積（トイレや洗面など）の場合は、張りはじめ、張りおさめの商品裏面に両面テープを使用し、下地と固定していただくことをお勧めします。（狭い面積の置床施工では使用上クリアランス分、床がズレてしまう可能性があります）

4 製品部位説明

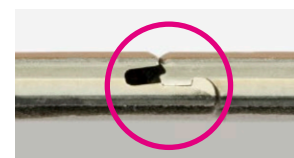
Wood pattern



Stone pattern



短辺側のサネ嵌合の断面



長辺側のサネ嵌合の断面



この噛みあい構造により、
接合部の段差や目隙を防ぐ

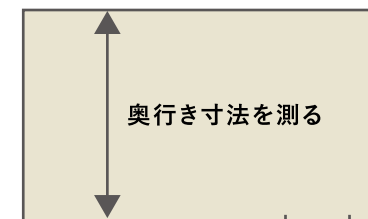
5 施工に必要なもの

- 厚刃のカッター
- 当て布
- メジャー
- 鉛筆
- ゴムハンマー
- 5mmスペーサー
- 金物定規
- 軍手

6 施工方法

1 床材の割り付けの確認

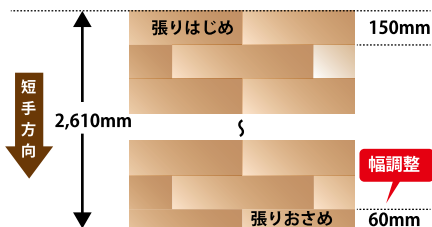
はじめに床材を施工する方向を確認します。施工部分の奥行き寸法を計測し、列数を計算します。最終列の幅が50mm以上になるように、張りはじめ（1列目）を幅調整してください。



2 列の推奨割り付け方法（乱張り工法の場合）

調整の幅が 50mm 以上を確保できるかをあらかじめ計算します。

■張りおさめで幅調整が必要な場合



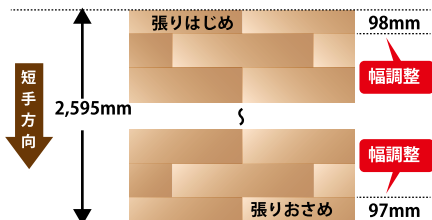
【例】 Wood pattern 幅150mm を使用した場合

内寸 2,610mm ÷ 150mm = 17 列 + α

17 列と残り 60mm

最終列の幅が 50mm 以上なので OK!!

■張りはじめと張りおさめで幅調整が必要な場合



【例】 Wood pattern 幅150mm を使用した場合

内寸 2,595mm ÷ 150mm = 17 列 + α

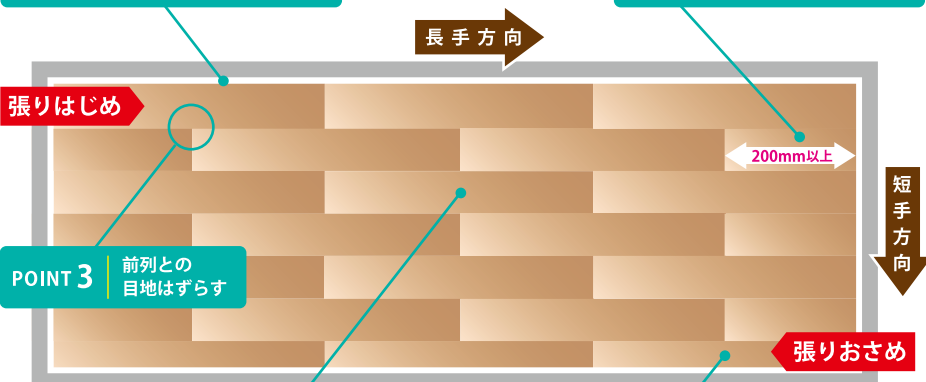
17 列と残り 45mm

最終列の幅が 50mm 以下なので NG!!

16 列と残り 195mm に変更
195mm を張りはじめ、張りおさめで割り振り
張りはじめ=98mm、張りおさめ=97mm

POINT 1 周囲壁際部分には 5mm クリアランスを確保

POINT 2 カットした材料は長さ 200mm 以上を確保



POINT 3 前列との目地はずらす

POINT 4 3 列目施工後にゆがみなく直線が保たれているか確認

POINT 5 張りおさめは幅 50mm 以上を確保

POINT 1 スペースの設置

床材施工場所の周囲壁際部分にはスペーサーを使用し、必ず5mmのクリアランス（隙間）を確保してください。
※弊社取り扱いの見切り材をご採用の場合、見切り材と床材に対して5mmのクリアランスを設けていただきますので、始めに見切り材を仮固定するなどして見切り材ベースレールの際（商品側）に5mmスペーサーを設置してください。

POINT 2 長手方向の張りはじめ/張りおさめ

長手方向の張りはじめと張りおさめは商品長さ200mm以上を必ず保持してください。（カットした端材は別列の張りはじめ・張りおさめにご利用いただけます。こちらも200mm以上を保ってください）
※長手方向の双方にサネがなくなった端材はご利用いただけません。

POINT 3 前列との目地はずらす

1列目で最後にカットした余りが200mm以上ある場合、2列目の張りはじめにご利用いただけます。前列との目地をずらしながら施工をしてください。

POINT 4 3列目以降施工後に歪みがなく直線が保たれているか確認

施工時は長手方向が常に直線を保つようにご注意願います。長手方向にゆがみが生じると、のちのサネ連結に支障をきたしますので、3-4列目の施工時に壁面からの距離を計測し、直線となっているようご確認願います。またサネ連結は長手方向、短手方向どちらも正確に差し込まれていれば連結部分は常に平滑に保たれます。多少でも段差が生じている場合はサネが正確に差し込まれていない可能性があり、のちの施工に影響を与えますので、該当箇所の張り直しを行なってください。

POINT 5 張りおさめは幅50mm以上を確保

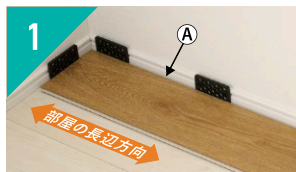
最後の列に使用する床材が、幅50mm以上となっていることをご確認願います。幅を調整した床材を施工する場合は、カットした面を必ず壁側にして施工してください。

3 カット方法（セルフカットの場合）



※刃物の取り扱いには十分にご注意ください。
※カッター切断の際は、下地面に傷がつかないように養生を施してください。

4 サネ連結方法



①オスサネが壁面側に向くように、スターターとなる1枚を設置します。また、壁際には必ず5mmのクリアランス(※)が必要です。
※湿度や温度変化によって商品が膨張した際、床材の浮き上がりを防ぐためとなります。



スターターとなる1枚目の右端に、2枚目の③サネをスライドさせるようにして差し込みます。差し込んだ後はサネの継ぎ手部分がフラットになっていることを確認しましょう。



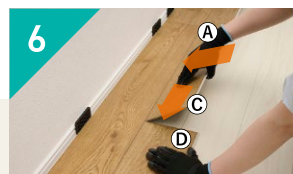
②の手順を繰り返します。列の最後の1枚を敷き込む際は床材を裏返して壁からの長さを測ります。鉛筆で印をつけて、必要な長さでカットしてください。



1列目最後の床材を差し込む際は、カットした切り口が必ず壁側になっていることを確認し、手前からスライドさせて差し込みます。



2列目を設置する際は、⑥メスサネに対して、2列目の①オスサネを斜め上から差し込みます。



2枚目を設置する際は、2枚目①オスサネを斜め上から差し込みながら、1枚目④サネと、2枚目③サネがロックできる位置を確認します。



差し込んだ床材の継ぎ目部分に体重をかけ、上からしっかりと押さえ込みます。



これで解決! /

はめ込みが
硬いときには
ゴムハンマーが
便利です



③サネと④サネの継ぎ手部分に当て布を被せて、ゴムハンマーで軽く叩いてください。もしはまらない場合は手順をさかのぼりやり直してください。
※強く叩きすぎると、サネ部分の破損につながりますのでご注意ください。
※ゴムハンマー使用の際は、施工音には十分にご配慮願います。

5 サネの外し方

サネを外す時は、必ず長辺の列(④または⑥)すべてを斜めに持ち上げてゆっくり手前に引き、外していきます。

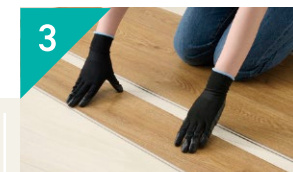
長辺の外し方



サネの取り外しは、必ず長辺から行います。



両手で床材をもち、サネが外れるまでそっと持ち上げます。



外れた床材を床に置きます。

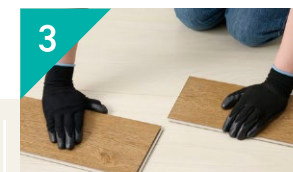
短辺の外し方



床材をそれぞれ反対方向にスライドさせます。



床材を軽く押さえ、捻れないように平行にスライドさせます。



完全に外れるまで平行にスライドし終え、取り外し完了。



注意

左のように持ち上げて床材を外そうとすると、サネが折れてしまいます。サネが折れた床材は使用できなくなりますので、十分ご注意ください。

6 床材の施工終了

■床材をすべて張り終えましたら、周囲際部分に設置していたスペーサーを取り外します。

※弊社見切り材をご利用の場合は、見切り材のカバーを取り付けていただくクリアランス(隙間)を隠していただけます。
※市販の壁付け巾木をご採用の場合は、クリアランスを超える厚みの巾木を選定し、取り付けてください。

7 養生

■施工後、浮き上がりや表面の傷がないかをご確認願います。

■養生前に、商品表面のゴミや汚れをきれいに除去してください。

※養生テープをご利用の場合、長期間使用すると床材表面に接着痕が残る場合がございます。十分にご注意ください。

7 日常のメンテナンスについて

- 拭き掃除を行う際は、商品表面のゴミを掃除機やほうきで取り除いた後、行なってください。(水拭きは可能ですが、表面に水を撒く行為はお控え願います)
- 本商品はワックスメンテナンスは不要です。
- ひどい汚れが付着した場合は、住宅用洗剤を雑巾に染み込ませ、拭き掃除を行なってください。(市販のモップ・ワイパー系のご利用は可能ですが、ワックス成分の含まれる製品のご使用はお控え願います)
- 重量のある家具や家電製品を移動する際は、合板を下敷きにして床材を保護してください。
- 家具や椅子の脚の下には、床材を保護するシートやカバーの使用をお勧めします。
- 直射日光に長時間さらさないでください。変色や伸び、突き上げを起こす原因となります。直射日光が当たる時間帯には、カーテンまたはブラインドの使用をお勧めします。

8 よくあるご質問

Q：商品は1ケース何枚入りですか？

A：Wood pattern、Stone patternともに9枚入で、1ケースで約1畳分(約半坪)の施工面積となります。

Q：商品用途は室内専用ですか？

A：本商品は室内専用で、屋外にはご利用いただけません。

Q：色違いの商品の連結は可能ですか？

A：ファン・オクロック同士で、かつ同じサイズの商品であれば、色違いでの連結は可能です。

(Wood patternとStone patternは幅と長さが異なるため、サイズの異なる連結はお勧めいたしません)

Q：商品の上にカーペットを敷いても大丈夫ですか？

A：ホットカーペットなど熱源のあるものでなければ商品上に敷物を敷いていただいて構いません。

Q：遮音フローリングとして使用可能ですか？

A：商品単体ではご利用いただけませんが、別売りの遮音マット(商品名：オトリロ)を合わせて施工いただければ遮音等級LL45として使用可能です。

Q：車椅子で走行可能ですか？

A：商品は対荷重性能が高いため車椅子走行などで商品に凹み痕が生じることはございません。

ただし重量物を引き摺った際に生じる擦り傷や摩擦痕などは付着する可能性があります。

また車椅子タイヤに砂つぶやゴミが付着したままの走行は擦り傷や摩耗劣化の原因になりますので、汚れ除去の上ご走行願います。

Q：キッチンでの使用に関して注意点はありますか？

A：耐水性に強い水廻りでの使用はお勧めです。ただし油ハネなど高温の液体が表面に付着すると熱で素材の一部が溶けてしまう可能性があるため、キッチンマット併用など表面保護をしていただくことをお勧めいたします。

PRAIRIE HOMES プレイリーホームズ株式会社

本 社

松 本

〒461-0004 名古屋市東区葵3-7-14 IMYビル7F

〒390-1131 長野県松本市今井5031

TEL:052-930-7855 FAX:052-930-7856

TEL:0263-50-3911 FAX:0263-50-3912

※製品改良のため、予告なしに商品の改廃をさせていただくことがあります。

※印刷の都合により、色合いなどが実際と多少異なる場合があります。

www.prairie.co.jp

